

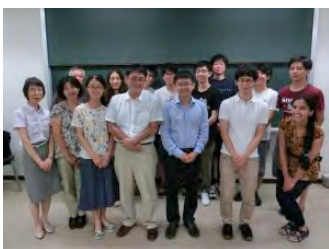


Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニュースレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流



第64回国際交流セミナー
(2頁参照)

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けます。また、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。

年度	2013	2014	2015	2016	2017
外国人研究員 (客員教授・准教授)	5	5	5	5	6
招聘外国人学者	4	7	3	1	8
外国人共同研究者	2	1	3	2	4

表1 外国人研究者受入れ数(渡日時年度) (人)

2017年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです(名前の中の()内は国籍/所属・身分)。

外国人研究員(客員教授・准教授)

(初めの4名については2頁で詳しく紹介していますのでそちらをご覧ください)

- ・Francois Depuigrenet Desroussilles先生
- ・Zhou Ying先生
- ・Megan Marshall先生
- ・Mikhail Brik先生
- ・Lester C. Roschky (レスター・C・ロシュキー) 先生
(米国/カンサス州立大学准教授)
- ・Xie Feng (シェ・フォン) 先生(中国/中国科学院
成都生物研究所教授)

招聘外国人学者

- ・馬嘯(マ・ショウ)先生(中国/雲南農業大学教授)
- ・Alejandro Lopez Moreno (アレサンドロ・ロベスマレノ) 博士(スペイン/マドリード自治大学)
- ・王浩(ワン・ハオ)先生(中国/河北師範大学教授)
- ・Lauri Kitsnik (ラウリ・キツニック) 博士(エストニア/インズベリー日本藝術研究所フェロー)
- ・Wang Wei (ワン・ウェイ) 先生(中国/西安交通大学講師)
- ・Michele Back (ミケレ・バック) 博士(イタリア・カフォスカリ大学)
- ・Yeh Su-Lingm先生(イエー・スーリン)(台湾/国立台湾大学終身特聘教授)
- ・Ahmad Tayyebi (アーマド・タエビ) 博士
(イラン/ウルサン大学研究員)

外国人共同研究者

- ・許逸如(シュ・イル)氏(台湾/国立台湾大学学生)
- ・勝見祐太(カツミ・ユウタ)氏(米国/イリノイ大学学生)
- ・Ma Minzhi (マ・ミンズィ) 氏(中国/西南石油大学学生)
- ・Yao Xiao (ヤオ・ショウ) 氏(中国/武漢大学研究生)

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時1名ないし2名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第62回 2017年4月18日

演者 Steffi Richter (シュテフィ・リヒター) 先生

ドイツ/ライプチヒ大学教授

演題 三木清『現代学生と思想の貧困』—思考の悲しみと歓喜



第65回 2017年10月20日

演者 Megan Marshall (メーガン・マーシャル) 先生

米国/エマーソン・カレッジ教授

演題 My Elizabeths: A Biographer and Her Subjects



第63回 2017年7月20日

演者 Franois Depuigrenet Desroussilles (フランソワ・

デピュイグルネ・デルシーユ) 先生

米国/フロリダ州立大学教授

演題 芸術作品とはいかなる種類のモノなのか？

—西洋のカトリシズムと日本の仏教における

聖遺物と芸術—

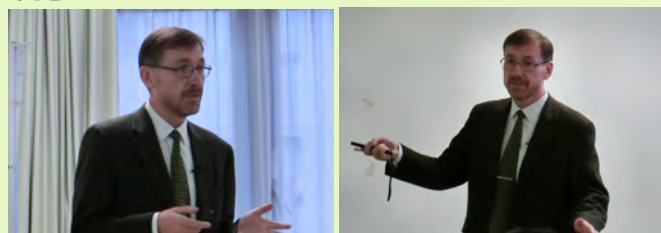


第66回 2017年11月16日

演者 Mikhail Brik (ミハエル・ブリック) 先生

エストニア/タルトゥ大学教授

演題 Russian Culture and Science: a Brief Overview



第64回 2017年7月26日

演者 Zhou Ying (ジョウ・イン) 先生

中国/西南石油大学教授

演題 The Challenge and Responsibility of Young

Scientists in China

(写真は右上と頁1)

外国人留学生

本研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2017年5月1日現在2,138名の留学生が在学していましたが、そのうち146名が本研究科で学んでいました（表2参照）。これは本研究科の全在学学生664名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約22%に当たり、また、その出身地は23の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

1991年4月の研究科創設から2017年3月までの間に、136名の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 外国人留学生人数
(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
2013	111人
2014	99人
2015	119人
2016	145人
2017	146人

表3 留学生出身国地域別人数
(2017年5月1日現在)

中国	101	韓国	9	台湾	6
米国	5	ロシア	3	イタリア	2
ニュージーランド	2	ハンガリー	2	フラジル	2
インド	1	ウクライナ	1	オランダ	1
カナダ	1	ジョージア	1	シンガポール	1
フランス	1	ベトナム	1	ベラルーシ	1
ペルー	1	香港	1	マレーシア	1
モンゴル	1	ルーマニア	1		1

計146

留学生オリエンテーション／懇親会

年度初めには、新入留学生対象のオリエンテーションと歓迎懇親会を実施します。懇親会は在学中の留学生や日本人学生も大歓迎！（写真は2017年度のオリエンテーション／懇親会の様子）



留学生見学旅行

本研究科では毎年11月、一泊二日の留学生見学旅行を実施しています。留学生の皆さんは、ぜひ申し込んで下さい（詳細は10月初めに発表予定）。（写真は2017年度留学生見学旅行から）



国宝松江城にて



小泉八雲旧居



旅館の大広間で食事



旅館の前で



境港の水木しげる記念館



出雲大社にて

学生の海外留学

海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学国際教育交流課発行「海外留学の手引」を参考にしてください）。以下、2018年1月現在留学中の4人を紹介しましょう（説明は、名前、人環の所属講座、留学先の所属・身分、奨学金等、留学期間）。

福間加代子さん（創造行為論・博士後期課程2年生）

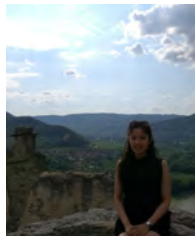
オーストリア／ウィーン大学美術史研究所／Visiting-PhD学生
京都大学財団在外研究長期助成（2016年9月-2018年2月）



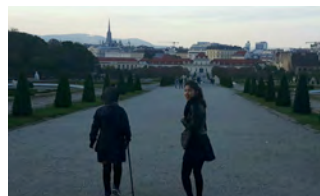
ウィーン大学中央図書館



ゼミで発表中の福間さん



テュルンシュタインの
ケーリンガー城跡にて



ウィーンの町を望むベルヴェデーレ
美術館中庭にて

篠原沙羅さん（言語比較論・博士後期課程2年生）

ドイツ／ハイデルベルク大学ドイツ言語学／博士課程学生
私費留学（2017年4月-2020年3月<予定>）



大学の建物とハイデルベルク城



ユースサミットで日独通訳中



テオドア=ホイス橋から見た
市街地



京大およびハイデルベルク大学の
友人とシュヴェッツインゲンにて

藤野志織さん（文化社会論・博士後期課程2年生）

フランス／ストラスブール大学文学研究科／交換留学生
大学間学生交流協定（2017年9月-2018年6月）



アルザスの街並み



キャンパス



大学構内



雪景色のSt. Mary's Abbey



船を改造したバーの前で



ホームパーティー



Remembrance Dayの式典に
集う人々



夜明けのカウントダウンで
ヨーク大聖堂前に集まった人々

打田篤彦さん（認知科学・博士後期課程1年生）

英国／ヨーク大学教育学部／修士学生
（2017年9月-2018年9月）

◇URL

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/>→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合わせ先

*国際交流委員／留学生アドバイザー 藤田糸子
Phone: 075-753-6868
Email: fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp

*京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

